

二千円券の他にも 2の付くお金があるって本当？

— 「2」の付く日本銀行券 —

現 在発行されている二千円券の他にも、「2」の付くお金はあります。かつては国立銀行が二円紙幣を発行したこともあります。日本銀行が発行し

た「2」の付く銀行券としては、二十円券、二百円券、二千円券の3券種があります。それぞれについて見てみましょう。

二千円券

— 千円券の図柄は、表面に首里城の城門の1つである「守礼門」が採用され、裏面の左側には約1000年前に記された源氏物語を元に描かれた「源氏物語絵巻」の一場面に詞書を重ねあわせたものを配しています。また、裏面の右側には、源氏物語の作者である紫式部むらさきしきの絵が描かれていますが、銀行券の図柄に女性の人物像が登場したのは初めてのことです。



二千円券（表）



同（裏）

二十円券

— 十円券は1917年（大正6年）発行の「甲二十円券」すがわらのみち（菅原道真像）と1931年（昭和6年）発行の「乙二十円券」ふじわらのかま（藤原鎌足像）の2種類です。前者は額面の表示が右横書き、後者は縦書きであったほか、後にも先にも日本銀行券で二十円券はこの2種類だけだったことから、それぞれ「横二十円」、「縦二十円」と呼ばれることもあります。



甲二十円券



乙二十円券

二百円券

ま た、二百円券については、1927年（昭和2年）の金融恐慌時に緊急発行された裏面が白地の「乙二百円券」（通称：裏白二百円券）と1945年（同

20年）に発行された「丁二百円券」（藤原鎌足像）および「丙二百円券」たけのうちのすくね（武内宿禰像）の3種類です。



乙二百円券



丁二百円券



丙二百円券